

# 令和元年度 第4回 若い教師と共に学び合う自主セミナー実施報告

【実施日時・場所】令和2年1月18日（土）@福島大学附属小学校

【テーマ】見方・考え方を働かせた学びを通して、資質・能力を育む授業とは？

前回のセミナーでの学びを踏まえて、今回は「見方・考え方を働かせた学びを通して、資質・能力を育む授業」について考えていきました。新学習指導要領完全実施目前の今、これまでの授業の在り方を見つめ直しながら、これから求められる授業の在り方を考えていきました。

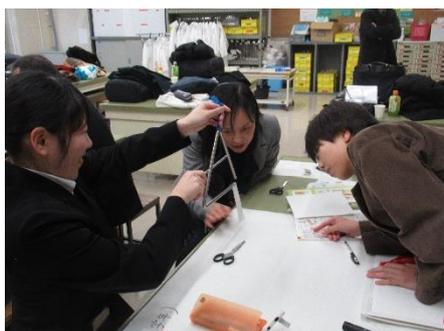
【セミナーの様子】

## 演習①「これまでの授業」と「これからの授業」のちがいについて考えよう

参加者から提供していただいた理科の授業映像を基に、新学習指導要領で求められる授業の在り方について考えていきました。授業で見られた子どもや教師の姿から、本時で育みたい資質・能力を明確にして授業づくりすること、子ども一人一人に解決する問題が明確になっていること、「見方・考え方」や「資質・能力」といった視点で子どもを見取ることが大切だという意見が出されました。また、そのためには、これまで以上に子どもの実態や教材の深い理解が欠かせないことも再確認できました。これまで大切にしてきたことはもちろん、子どもを丁寧に見取る教師の構えも改めて意識することができました。



## 演習②「見方・考え方を働かせた学びを通して、資質・能力を育む授業」をつくろう



前半は、演習①で共有したことを基に、授業づくりを行いました。単元は、来年度から追加された、3年理科「音の性質」と4年理科「雨水と地面の様子」についてです。教科書を参考にしながら、実際に教材を用いて試してみたり、想定される子どもの姿をイメージしたりしながら、授業づくりに熱中していました。

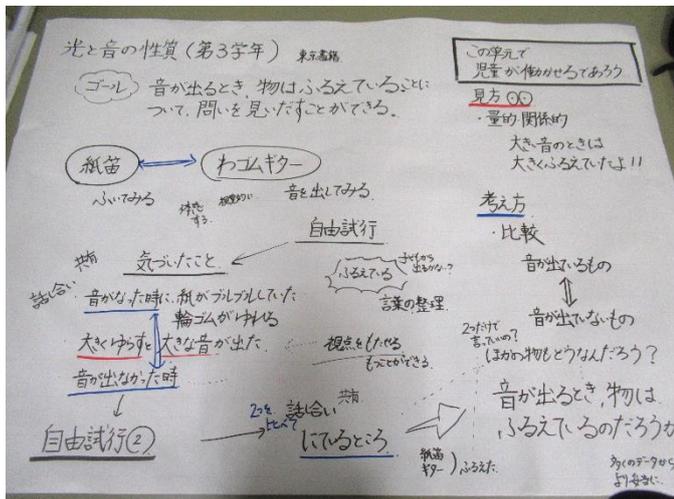
後半は、各グループの授業構想を発表し合い、協議を深めました。子どもが見方・考え方を働かせ、資質・能力を発揮する具体的な姿の想定を基に、そのための教材や言葉かけを提案したり、各社の教科書を比較し、取り上げられた実験結果から考察する過程で大切にすべきことを考えたりと、様々な視点からの発表がありました。どのグループの発表からも、子どもの発言や行動を丁寧に見取り、授業につなげようとする教師の構えがにじみ出ていました。明日からの授業実践に生かしていけることを願っています！



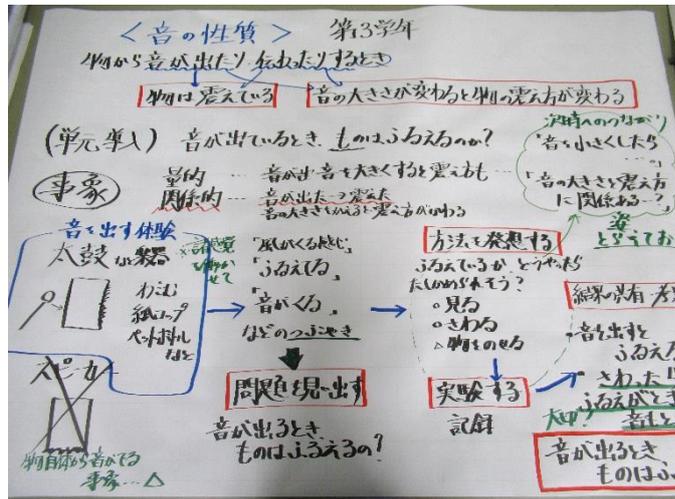
～ 資料 ～

演習②の授業づくりの際、各班が作成した授業構想の記録です。どのようなことを考えながら、参加者が授業づくりを行ったかをぜひご覧ください。

A班 3年「音の性質」



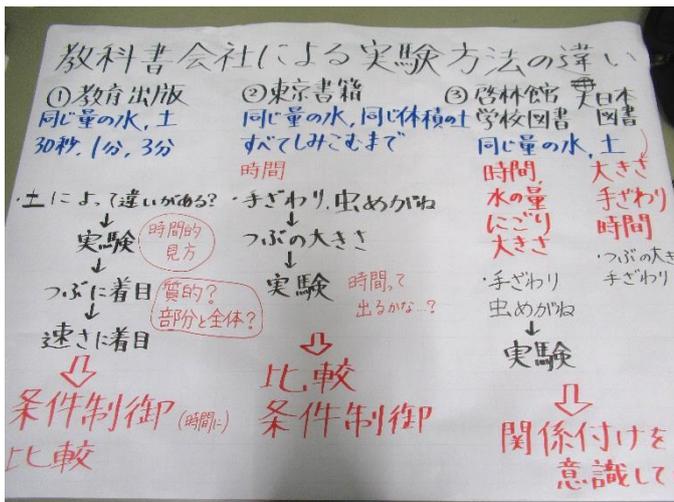
B班 3年「音の性質」



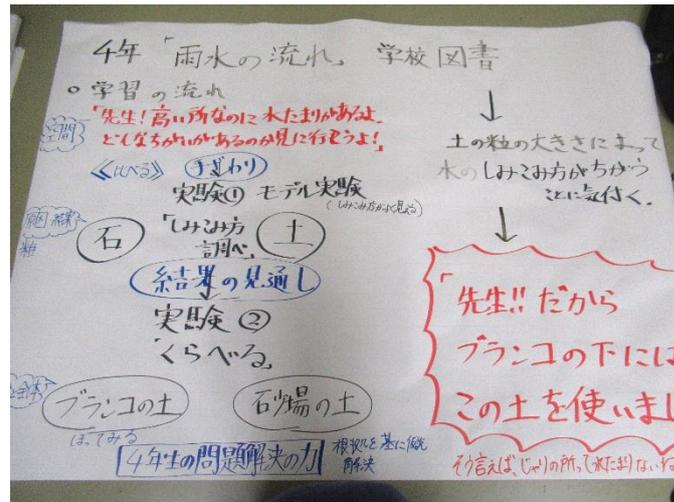
見方・考え方を意識しながら、教材や素材を実際に使いながら検討をしました。素材・教材の良さや課題が見えました。

諸感覚を大切に、問題解決のプロセスを意識しながら検討しました。やはり導入が大切。諸感覚を働かせるために、体験を重視しました。

C班 4年「雨水と地面の様子」



D班 4年「雨水と地面の様子」



各教科書会社の実験方法を、見方・考え方の視点で切り込みました。各社の特徴が分かりました。不明の点は教科書会社に聞かねば分かりません！

日々の実践上の課題から授業構想を試みました。土の粒の大きさの違いや割合等、ファクターが多すぎて難しいですね。粒に視点を当てているわけは？